

今年度、私たちが目指す友和会の姿は、「互いを理解し、自分たちで本気で考え・本音で発信する友和会」です。互いにとことん思いを伝え合い、自分たちから行動を起こす姿が本音で発信する姿です。このような友和会を創り上げるために、次のスローガンを掲げました。

未来

～仲間と見附へ本音で発信～

このスローガンは、友和会員全員で見附中学校や地域のことを本気で考え、仲間や地域のために行動を起こし発信することで、友和会や「見附」のよりよい『未来』を創っていくことを意味しています。このスローガンをもとに「互いを理解し、自分たちで本気で考え・本音で発信する友和会」を実現するため、3つの方策を推進します。

1、学級会・班長会の活性化

学級は学校生活を送る上で多くの時間を過ごす場所です。学校の根幹とも言える場所だと考えます。より過ごしやすい学級、より安心する学級を目指すことが、過ごしやすく、安心できる学校につながると考えます。そのために、学級のよさや改善点を班長会で共有し、学級で審議したり、中央委員会で共有したりして、みんなでよりよい学校生活をつくったり、自分たちで改善点を解決したりすることを目指します。友和会員全員でよりよい学級・見附中学校を創ります。

2、交流活動の実施

全校・学年・学級など様々な集団で交流活動を行います。交流活動を通して、会員同士の距離がこれまでよりも近づき、話合いがしやすい環境を目指します。そのような環境が互いの信頼関係を生み、日常の会話や議案審議などの話合いでも自分の本音を語りやすくなると考えます。そして、それらの「本音」を友和会活動に反映させ、行動に変えていくことで、仲間や「見附」と共に向上できる友和会を創ります。

3、地域貢献活動の推進

中学校区の小学校や分団のあいさつ活動、通学路のゴミ拾いなどの地域に貢献する活動を行い、いつも私たちを応援してくれる「見附」を、見附中から盛り上げることを目指します。また、「見附」を意識した活動を通して、地域とのつながりをつくり、友和会が「見附」の取組に関わっていける方向性を検討する1年にします。